

平成28年度 施策評価表

課・グループ名	生涯学習課社会教育グループ

作成年月日平成29年10月13日

施策名	②家庭教育の支援 3-3-②		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	3. 地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり	(3) 豊かな心を育てる社会教育の推進	②家庭教育の支援
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの親が集まる機会を利用して学習機会の提供や情報提供に努めます。 ●関係機関や地域との連携を図り、家庭教育に関わる情報や学習機会の提供を行い、家庭教育力の向上を図ります。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭教育は、「すべての教育の出発点」ですが、本来家庭において担うべき役割の認識が低下している傾向にあります。 ●少子化や核家族化の進行により、生活体験の機会が減少し、子どもとの係わり合い方やしつけなど子育てに自信のない親が潜在しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭教育に係わる様々な学習の機会の充実や情報を提供することが必要です。 ●親子で学習活動する場の提供や地域全体で家庭の教育力を高めていくことが必要です。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況								
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化	
	・多くの親が集まる機会を活用し、該当する子どもを持つ保護者に学習機会を提供する。			成果指標 (総合計画・施策評価)				可能
								不可能
	※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。			代替指標 ※成果指標がない場合				未計測
							講座への参加率 (参加者/該当者数)	
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度			
		H25	H26	H27	H28	H28		
目 標	%	100	100	100	100	100	幼稚園の参観日に合わせての講座も開催したことにより、参加率が増加した。	
実 績	%	59	64	61	73	73		
達成率	%	59	64	61	73	73		
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点		
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度 A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の大切さや思春期を迎える子への親の対応等を情報提供する事が出来た。 ・小中学校の入学説明会や幼稚園の参観日に合わせて親学講座を実施し、より多くの保護者に家庭教育に関する情報提供ができた。今後も目標達成に向けて、保護者が関心のある情報を提供していく必要がある。 		
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)							
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)							
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)							

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H28実績	H29予算	
					実績								
1	家庭教育支援事業	(1)	生涯学習課	参加率 (参加者数/該当者数)	100	%	多くの親が集まる機会を活用し、家庭教育に関する知識や課題を学ぶ場を提供する。	II	I	1 現状のまま継続	26	27	高い
					73	%							
2													
3													
4													
5													

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H28事業費	26
H29予算	27

②H29に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	・子育てに対する家庭での役割の認識が低下しているため、 家庭で担うべき役割を学習する機会として必要である。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	
	A	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性	事業番号					平成29年度以降 の予算の方向性	
			A						
			B	1					拡大
			C						○ 維持
			D						縮小